

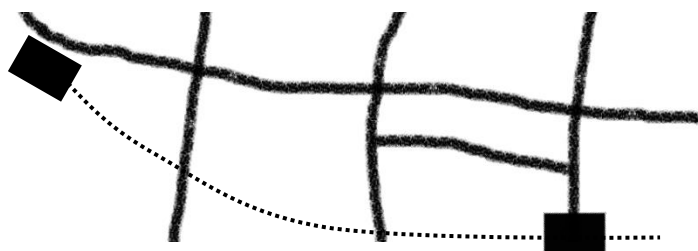
2021
1/19(火)
13:30~

富士宮の宝物探し

6 つの商店街 まち歩き

募集中です

- アイデア
- 情 報
- 参 加 者



買物だけでなく商店街や地域一帯を楽しんでほしい、そんな思いから「商店街まち歩き」の準備に入ります。そのためには、お店を始めるならこの商店街にしたいなあ、商売を引き継いでよかったなあ、と思ってもらえる商店街づくりの取り組みを不断に続けていかなければなりません。

観光客（今は国内、近回り）の様子も変わってきました。「富士宮の人と同じように富士宮を体感したい」傾向が強くなっています。この間、市内の観光拠点と商店街が手を結ぶことで新たな取り組みをつくりだしたい、という意気込みで進めてきました。商店街もまた、富士宮の大切な観光資源です。

さあ出かけよう、商店街へ
富士宮商連ニュース

不定期 第3号

《発行》

富士宮市豊町 18-5

富士宮商店街連盟

会長 増田恭子

0544-26-3101

月日・時	会 場	内 容 説 明
令和3年 1/19・火 13:30	駅前フジサンマルマル シェ前集合	簡単な打ち合わせの後、まちなかの魅力再発見まち歩き。 商店街やその周辺を探索。
2/18・木 13:30	駅前きららの6会議室 (予定)	まち歩きの結果やお客様にお聞きした情報を持ち寄り 検討します。
申込用紙で事前申し込みをお願いします。		

今回の「商店街まち歩き」は、市民や観光客のみなさんにご案内する前の段階の「宝物探し」です。例えば、富士山や浅間大社を抱えるロケーションの良さです。地元ですから視点をさまざまに変えながら詳しく探索しましょう。

周りの人やお客様にも聴いていただきたいので、検討会は1か月後になります。

コロナ禍の市内観光拠点 ②

ふもとつばら・竹川代表を迎えて

11/16

富士急ホテル1階食堂

日々進化するコロナ対策

密になるトイレ・食堂

あさぎりフードパークさんに続き、キ



ヤンプの聖地・ふもとつばら竹川社長（写真中央）

との話し合いを持ちました。

「皆さんに

ふもとつばら

に視察に来て

いただいたこ

とは、大いに

刺激になりま

した」と竹川

社長。バス視

察で参加者がもつともコロナ対策が進んでいる観光拠点として評価した場ですが、「ドライブスルー方式でのコロナチェックからさらに厳しくゲート方式にしたい」とのこと。キャンプ場でもつとも密になるのはトイレと食堂。光触媒や酸性・アルカリ性消毒液の切り替え装置など、次々に取り入れています。

コロナ対策が選択基準に

お客様によるこんでほしい

「大騒ぎしていれば遠慮なしに注意している」のはお客様が望む環境をつくりたいから。夢のあるものも出していききたいと、森の結婚式も検討中。

コロナ禍で、キャンセルは一切なし。

予約が入りすぎて困っている面も。非接

触・キャッシュレスは全体の半分以上。

今回、新規に参加した商店街メンバーは2名。参加した全員から質問。商売の不安や事業引継ぎなどを含め、すべてに丁寧に応じていただきました。

商店街に素晴らしいものが

ぜひ売りに来てほしい

神田川の大切な思い出、商店街にはおいしいものがいっぱいある話など、商店街への思い入れも強く感じさせるお話でした。「キャンプのお客さんも富士宮のものを食べたくて、朝に近所の農家などをめぐるツアーを組もうかと思つたくらい」「首都圏や関西の人は富士宮のお土産をほしがっている」「おいしいものやお土産などぜひ売りに来てほしい、大歓迎」など、今後の取り組みのヒントがいっぱいでした。

「『あさぎり高原』の道路標識をつけてもらうのには大変苦労したけど、地域のブランドづくりは時間がかかってもこつこつ進めたい」。

富士宮市民みんなが大好きな

10月
27日

あさぎりフードパークにしてほしい

「出張商店街 in あさぎりフードパーク」アンケート結果

1. 市民団体も出店。市内全域から「出張商店街」に

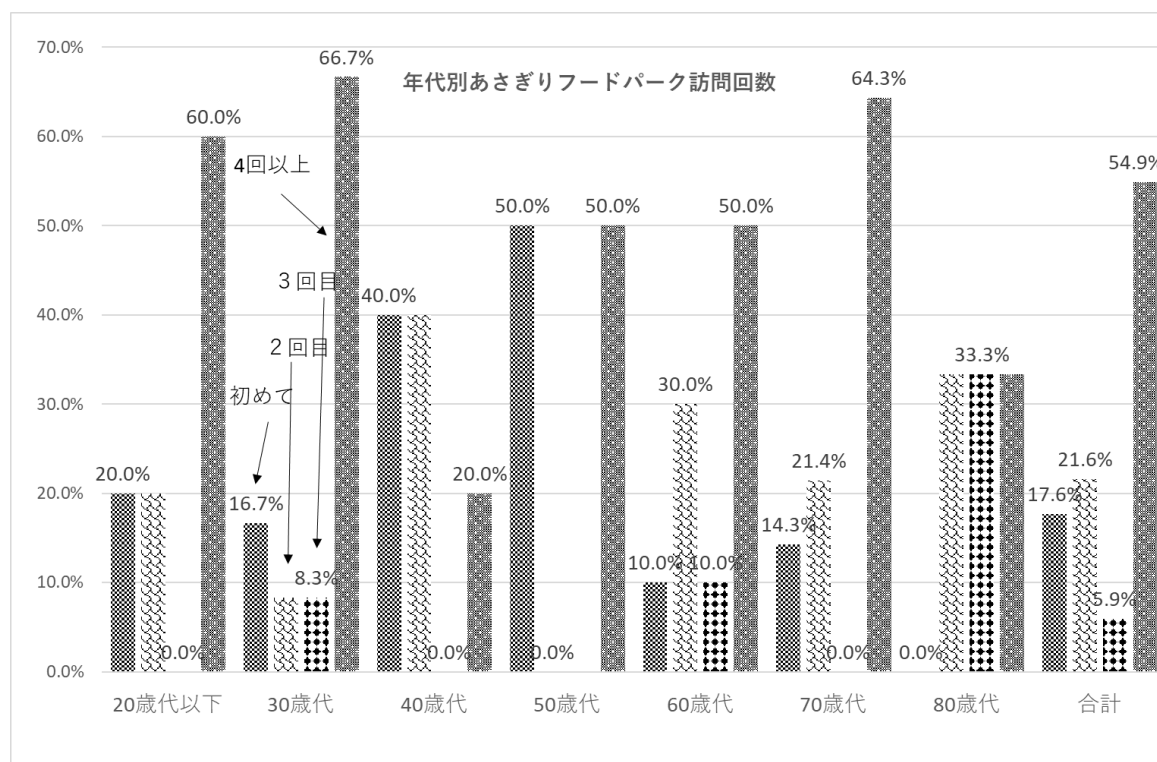


安心して楽しむためのエチケット
名簿記入も消毒も和気あいあい、
皆さん喜んでご協力いただきました。

「出張商店街」は北部山間地の買物弱者対策で始まった事業です。各地の寄り合い処に集まっていたいただき開催してきました。新型コロナ感染拡大に伴い長く休止せざるを得ませんでした。コロナ禍、何とか開く方法はないか、様々に検討しました。今回は特別、あさぎりフードパークのイベント広場で、名簿記入や消毒をしてもらうための受付を用意し、各店もコロナ対策を十分に取りながらの開催でした。

今回の「出張商店街」では、富士宮全戸に回覧板でチラシが配られ、また、市内 20 か所の子育てサロン等にもチラシ配布。北部山間部からは送迎バスも運行されました。市民団体の出店もあり、穏やかな天候にも誘われてにぎやかな 1 日となりました。アンケートにも気持ちよく答えていただきました。

2. 半数以上があさぎりフードパーク訪問4回以上、市民の「常連の場所」



訪問「4回以上」がもっとも多かったのは30歳代の子育て中のママさんでした。「安心して子供と飛び回ることができる」のでママ友の小グループで訪れています。

「出張商店街」をどこで知ったかは、チラシや回覧もありますが、インターネットやSNSで知った家族・友人からの情報入手（上の表の「その他」）が多くありました。

	初めて	2回目	3回目	4回以上
市内計	13.2%	21.1%	7.9%	57.9%
県内計	28.6%	14.3%	0.0%	57.1%
県外計	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%
回覧板	新聞	チラシ	友人	その他
25.0%	3.8%	25.0%	7.7%	42.3%

あさぎりフードパークへの要望では、「普段子供たちが遊んでいるすべり台やブランコなどの遊具がほしい」です。ママ友は気楽に集える場を探しています。

また、「ワンちゃんと一緒にいける場所を探して」（初めて訪問）、「ワンちゃんにやさしい」などの回答があります。多かったのは、「地元の農作物を置いてほしい」という要望です。あさぎりにはいろいろあるはずだし「私たち富士宮の人は、地元富士宮のものを食べたいのよ」という意見です。

3. コロナ禍、広々の「出張商店街」もいいよね、でも近くでも開きたい



市内全域からお出かけいただいたこともあり「出張商店街」初体験の市民が大勢いました。「コロナを心配せず楽しめた」ようです。「もっとどんどん紹介してください」「こんな広々した場所で、いいよね」という意見が多数ありました。

従来から「出張商店街」を楽しみに地域で暮らしている皆さんの意見をお聞きしました。「コロナで仕方ないけど、開催を楽しみにしていた」「さみしかった」というのが第一声。

地区からご夫妻やご家族、お仲間に参加された方も多かったのですが、

「うちの方でもやってほしい」

「いつも通り近くもやってほしい」

「集まる人数が少なくて申し訳ないが、何とか寄り合い処で開いてもらえないだろうか」などの要望がありました。また、見学した他の地区の方も「ぜひ私たちのところでも」と感じました。

【詳細は事務局にあります。お申し出ください。】

短 信

商店街で「御用聞きと配達」始めます！

商売の原点は「行商」。コロナ禍で取り組めることは何か、どんどん実験を始めます。

「GoTo 商店街」での事業をきっかけに、商店街のお店で売っている商品の御用聞きと配達はできないか、検討を始めています。注文をもらう仕組みや決済、配達の仕組みなど難問山積みのため、小規模な所からスタートし、徐々に広げていきたいと思ひます。

まず、注文することに慣れていただく必要があります、カタログ冊子を用意する予定です。同時にネットも立ち上げます。ご高齢なみなさんがネットで注文できるようにするためには地域の世話人さんにもご協力をお願いしなければなりません。【詳細は次号で】